

【ご参考】 2025年3月期 決算短信 補足資料

1. 当期連結業績の概要

【業績】

売上高 1,382億円（前期比 3億円増収） 営業利益 102.1億円（前期比 5.0億円減益）
USD 7.26円の円安、THB 0.28円の円安、CNY 0.92円の円安により、
売上高 16.6億円増加、営業利益 1.5億円増加
経常利益 140.3億円（前期比 6.1億円減益）
親会社株主に帰属する当期純利益 129.4億円（前期比 14.6億円増益）

【連結の範囲】

連結会社 23社（1社増加） 持分法適用会社 3社（1社減少）

【特別損益】

特別利益 40.0億円：投資有価証券売却益 34.9億円、段階取得に係る差益 3.2億円等
特別損失 7.3億円：固定資産処分損 4.5億円、汚染土壌処分費用 2.8億円等

【期末配当金】

期末配当70円／株（年間135円／株）（前期年間 250円／株※）

※前期の配当については、株式分割前を基準とした金額を記載しています。

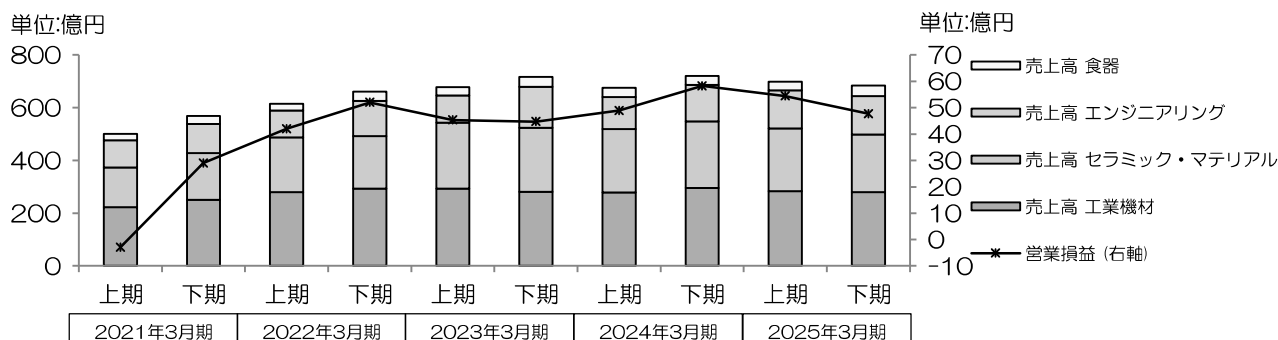
(1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

		2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	対前期比
		通期実績	通期実績	通期実績	通期実績	通期実績	
売上高	工業機材	474	573	575	557	564	7
	セラミック・マテリアル	328	407	492	466	455	△ 12
	エンジニアリング	214	236	259	286	291	5
	食器	54	60	69	70	72	2
		1,070	1,276	1,395	1,379	1,382	3
営業利益	工業機材	△ 12.3	30.6	23.5	24.8	16.7	△ 8.2
	セラミック・マテリアル	31.0	54.2	48.4	61.8	66.1	4.3
	エンジニアリング	20.0	20.5	20.5	21.9	19.2	△ 2.8
	食器	△ 13.1	△ 11.8	△ 2.8	△ 1.5	0.1	1.6
		25.6	93.5	89.7	107.1	102.1	△ 5.0
(売上高営業利益率)		(2.4%)	(7.3%)	(6.4%)	(7.8%)	(7.4%)	-
経常利益		44.8	125.1	124.1	146.4	140.3	△ 6.1
特別利益		1.8	1.4	12.5	20.5	40.0	19.5
特別損失		5.7	11.6	10.7	13.1	7.3	△ 5.8
親会社株主に帰属する 当期純利益		28.1	90.7	100.2	114.8	129.4	14.6
1株当たり当期純利益※		97.27円	314.13円	347.28円	396.46円	450.25円	-
1株当たり純資産※		3,842.39円	4,091.83円	4,440.95円	5,074.49円	5,286.10円	-
USD 為替レート		106.4円	110.4円	136.0円	145.31円	152.57円	-

※ 2021年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しています。

半期毎の売上高及び営業損益の推移（2021年3月期-2025年3月期）



(2) 設備投資及び減価償却費

(単位：億円 四捨五入)

	2024年3月期		2025年3月期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	26	20	23	22
セラミック・マテリアル	15	16	27	17
エンジニアリング	2	3	21	3
食器	3	3	5	3
管理部門	7	7	37	6
合計	54	48	113	51

(3) 有利子負債

(単位：億円 四捨五入)

	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	対前期比
有利子負債※	79	65	125	26	61	35
現金及び預金	123	142	146	213	166	△ 47
ネット有利子負債	△ 44	△ 77	△ 22	△ 187	△ 105	82

※ 有利子負債には、リース債務は含めておりません。

2. 2026年3月期の計画

(1) 重点施策

【工業機材】

- ・オーダーメイド品事業では、市場の変化に迅速に対応するため、従来の製品別から市場別（成長領域別）に事業体制を再編するとともに、徹底した収支改善（拡販・価格適正化・OEM活用・原価低減等）に継続して取り組みます。汎用品事業では、国内及びタイ国の製造体制の再編と整備により競争力を高め、収益改善を図ります。
- ・エレクトロニクス分野を中心に成長領域向けの新商品の開発、販路の拡大、増産体制の確立に取り組むとともに、国内及び海外の販売拠点の整備、販売・製造システムの刷新を進めます。

【セラミック・マテリアル】

- ・電子ペーストは、価格の適正化と製品ラインナップの拡充を進めるとともに、パワー半導体周辺材料への参入と量産化に取り組めます。電子部品材料は、主力の積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力の増強とともに、製造基盤の整備と原価低減による競争力の強化を図ります。2025年4月に印刷技術を中核とした事業ポートフォリオの再編を行いました。新たに高収益で高効率な事業基盤を確立します。
- ・成長領域（環境・エレクトロニクス・ウェルビーイング）向け新商品の開発を進めます。

【エンジニアリング】

- ・主力のエネルギー、エレクトロニクス分野では、開発、販売、製造、品質管理体制の整備と、アフターサービス（メンテナンス・消耗品販売等）体制の確立により、シェアの拡大を図ります。
- ・新しい分野（医薬、半導体、サーキュラーエコノミー）への参入と市場の開拓、成長領域（環境・エレクトロニクス・ウェルビーイング）での新用途・新商品の開発を進めます。

【食器】

- ・米国の収益改善と各国の販売体制の構築を進めるほか、環境負荷を低減する素材の採用など、新商品開発に取り組むとともに、事業基盤（製造・販売・技術）の整備を推進します。
- ・ブランド力向上と新分野（インテリア・ライフスタイル等）への参入を図るとともに、今後の成長が見込まれる海外HoReCa※市場での拡販に取り組めます。

※ HoReCa（ホレカ）：Hotel（ホテル）、Restaurant（レストラン）、Cafe / Catering（カフェ / ケータリング）の略語

【設備投資金額】

設備投資 150億円

減価償却費 60億円

(2) 業績予想

(単位：億円 四捨五入)

		2025年 3月期	2026年3月期 業績予想			
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	564	280	280	560	△ 4
	セラミック・マテリアル	455	220	225	445	△ 10
	エンジニアリング	291	135	165	300	9
	食器	72	35	40	75	3
		1,382	670	710	1,380	△ 2
営業利益	工業機材	16.7	5	8	13	△ 4
	セラミック・マテリアル	66.1	29	31	60	△ 6
	エンジニアリング	19.2	4	13	17	△ 2
	食器	0.1	△ 2	2	0	△ 0
		102.1	36	54	90	△ 12
経常利益		140.3	52	73	125	△ 15
親会社株主に帰属する当期純利益		129.4	45	60	105	△ 24

(想定為替レート USD=135円)